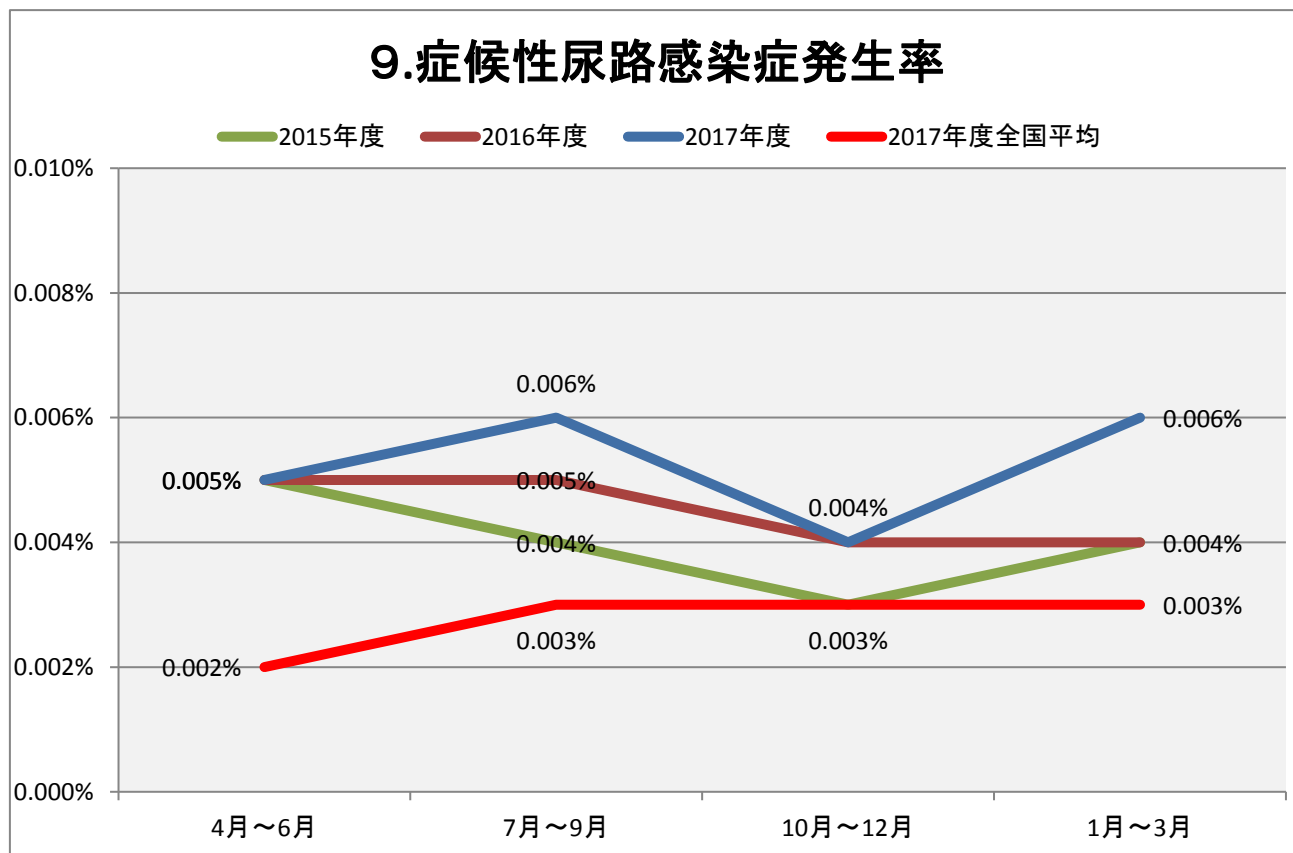


9. 症候性尿路感染症発生率

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2017年度	0.005%	0.006%	0.004%	0.006%
2016年度	0.005%	0.005%	0.004%	0.004%
2015年度	0.005%	0.004%	0.003%	0.004%
2017年度全国平均	0.002%	0.003%	0.003%	0.003%

(2) 指標の説明

尿路感染症は医療関連感染の中でも最も多く、約40%を占め、その80%が尿道留置カテーテルによるもの、CAUTIです。医療機関で起こる血流感染の15%はCAUTIの合併症であると推計されており、その寄与死亡率は15%を超えます。CAUTIのリスクは医療機関、部署、患者の特性に左右されますが、エビデンスレベルが高い予防策の実施により、CAUTIの65%～70%は予防可能と推計されています。2015年から採用された項目です。

(3) 定義

分子：分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数
 分母：入院患者数における尿道留置カテーテル挿入延べ日数

(4) 考察

感染症発生率は低く推移しており、各診療科および院内感染防止対策委員会とともに、カテーテルの適正使用、手指衛生の遵守などに努めていきます。